

# 引張試験機

## プロテスター TI-20型

あと施工アンカー引張試験機

## 取扱説明書



### 適合サイズ

M6 ~ M24

W1/4 ~ W1

D10 ~ D25



株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号  
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

# 目 次

1, 各部名称	.....	P-1
2, 組立手順	.....	P-2 ~ 4
3, 操作手順	.....	P-5 ~ 6
4, 注意事項	.....	P-7

# 1, 各部名称



センターホールシリンダー

センターホールシリンダー用特殊台座

油圧ポンプ

油圧ホース

圧力計

反力台

反力台調整ボルト

センターシャフト(M16×160L・350L、M24×160L・350L)

カプラ(M6～M24、W1/4～W1)

## 2, 組立手順



油圧ポンプに圧力計を取り付めます。

**⚠** 圧力計のガラスは割れやすいので  
ご注意願います。



センターホールシリンダーとポンプ、  
油圧ホースのキャップをはずし、  
カチッと音がするまで押しはめ込みます。

**⚠** カブラ同士をしっかりとはめ込んで下さい。  
隙間があると油もれや故障の原因になります。



適合サイズのセンターホールシリンダー用  
特殊台座をねじ込みます。

**⚠** ねじ込みはしっかりと締め付けて下さい。



反力台に反力台調整ボルトをセットします。

ボルトの先端が3山ほど出る程度まで  
ねじ込んでください。



アンカーサイズに適合した、カブラ  
を取り付けます。

めねじアンカーの場合は、寸切りボルトを  
取り付けます。



センターシャフトをねじ込みます。

カブラとの隙間が無くなるまでねじ込んでくだ

**⚠** ねじ込みが不十分だとボルト等のねじ山が損傷  
ボルトや機械が飛び出して事故や怪我を招く恐  
あります。



反力台を設置し、センターシャフトと  
反力台が直角になるよう  
反力台調整ボルトを調整します。

**⚠** 水平に置かれていないと偏荷重が架台及び  
テンションボルトに発生し、ボルトや機械が  
破損し事故や怪我を招く恐れがあります。



センターシャフトにセンターホールシリンダーを  
通します。

**⚠** 壁面及び天井向きの場合、落下による怪我や  
機械の破損が考えられます。  
必ず落下防止措置を講じて下さい。



ワッシャー、ナットをセットして、全体的に  
がたつかない程度に締め込みます。

組立完了です。

### 3, 操作手順



圧力計の置針を“0”に合わせます。  
(圧力計中央のツマミを回すと赤針が回ります)

目盛について...赤の数字がkN目盛になります

赤字: kN 黒字: MPa



ロックピンをはずし、空気弁を開放します。



出戻バルブを右方向にゆっくり回します。

⚠ 停止するまで回してください。但し工具等を使用  
回すと破損の恐れがありますので必ず手で  
回してください。



ハンドルをゆっくり上下に繰り返し、  
設定荷重まで加圧します。

【加圧速度の目安】

$$\text{アンカーねじ径の有効断面積 (mm}^2\text{)} \times \text{毎秒 } 0.02\text{kN/mm}^2 = \text{kN}$$

(例) M16の場合

$$157.0\text{mm}^2 \times \text{毎秒 } 0.02\text{kN/mm}^2 = \text{毎秒 } 3.14\text{kN}$$

⚠ 注意: ボルトの先端に顔、体を向けない



赤の針の示す位置が引張荷重 (kN) となります。

(1目盛: 10kN)

『10kN=0.98t』



出戻バルブを左にゆっくり回して減圧します。

**⚠ 注意...**減圧時は、つまみを左にゆっくりと回してください。いききに回す(減圧する)とゲージを破損する原因となります。

使用後

- ・出戻バルブを全閉にして下さい。
- ・空気弁を全閉にして下さい。
- ・レバー握り部をロックピンで固定して下さい。
- ・高圧ホースを外して下さい。
- ・カブラには必ずキャップを付けて下さい。



## 4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, 圧力計には、急激なショックを与えないで下さい。 故障の原因となります。
- 4, 油を使用しているため、火気の附近や溶接作業を行っている場所では使用しないで下さい。
- 5, 使用中油温が60 を越すと圧力が上がらない場合があります。冷却後、使用して下さい。
- 6, 油が目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 7, 油が皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 8, 油を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

### 『引張荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に  
よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、引張試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、  
加える荷重には十分注意してください。